

**マイスターエンジニアリング、  
「2030年クライシスを迎える『超重要インフラ』メンテナンス技術者の  
求職状況及び就業実態調査レポート」を公表  
～超重要インフラのメンテナンス技術者を集め、業界全体で育てる提言と取組をあわせて発表～**

産業・社会インフラのメンテナンスやエンジニアリングサービスを提供する株式会社マイスターエンジニアリング（住所：東京都港区、代表取締役社長：平野大介、以下「当社」）は、鉄道や電気など国内の「超重要インフラ（いわゆる「クリティカルインフラストラクチャー」）」を支えるメンテナンス技術者について、技術者の求職状況や就業実態について独自に調査を行いました。その結果、技術職就業意向者のうち3人に2人が「メンテナンス技術業界への就業」を検討さえしたことがない状態であることや、メンテナンス技術者業界に対して求職者が持つイメージと、メンテナンス技術者の就業実態との間に大きな乖離があることなどが判明しましたので、本日9月25日に「**2030年クライシスを迎える『超重要インフラ』メンテナンス技術者の求職状況及び就業実態調査レポート**」を公表し、当社の取組みについて発表いたしました。

なお、今回の調査は、今年2023年4月に行った「**2030年クライシスに陥る『超重要インフラ』メンテナンス人材不足調査レポート**」（第一回調査）に続くレポートとなります。「超重要インフラ」とは、国民生活や経済活動の基盤となるインフラのうち、他で代替することが困難であり、機能が停止もしくは低下すると社会に大きな混乱を招くと見込まれるものであり、日本政府は情報通信、金融、航空、空港、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油の14分野を重要インフラとして位置付けています。

このところ頻発する通信設備や金融機関のATMによる障害発生、鉄道の電気設備トラブルなど、重要なライフライン系の障害は、復旧が極めて困難であり、対応に時間を要するほど多くの利用者の生活や経済活動に深刻な被害をもたらします。新たなインフラが次々に建設される一方で、人口減少や高齢化などに伴った「超重要インフラ」メンテナンス技術者の人材不足は極めて深刻であり、今から7年後には「超重要インフラ」各所でメンテナンスが成り立たなくなる、「2030年クライシス」を迎える危機的な状況にあることは、人材の需要サイドを調査した第一回調査レポートで示した通りです。

今回第二回となる当社独自調査は、人材の供給サイドに焦点を絞り、レポートにまとめました。その結果、「技術・エンジニア職」の中では「ITエンジニア職」が圧倒的な人気を誇ることや、技術職就業意向者のうち3人に2人が「メンテナンス技術業界への就業」を検討さえしたことがない状態であることが判りました。また、求職者はメンテナンス技術者に対して「技能習得が難しい」「働き方がハード」といったネガティブなイメージを持っており当該職種を敬遠している可能性が高い一方で、就業中のメンテナンス技術者は仕事に対する満足度が高い「住めば都」的な職種であると認識している可能性が高いことなども判明しました。

超重要インフラを支えるメンテナンス技術者を集め、育てていくためには、業界全体でまず、職業選択のハードルを下げなくてはならない。こうした課題認識に基づき、当社では①官民連携したメンテナンス技術職の魅力発信、②官民連携で「メンテナンス現場の働き方改革」にフォーカスを当てた取組促進、積極的アピール、③「未学習者・未経験者」がメンテナンス技術者に成長できる育成環境のグループ全体での整備とメンテナンス技術業界におけるグループ規模の拡大、といった3つの施策を提言し、取り組みを推進してまいります。

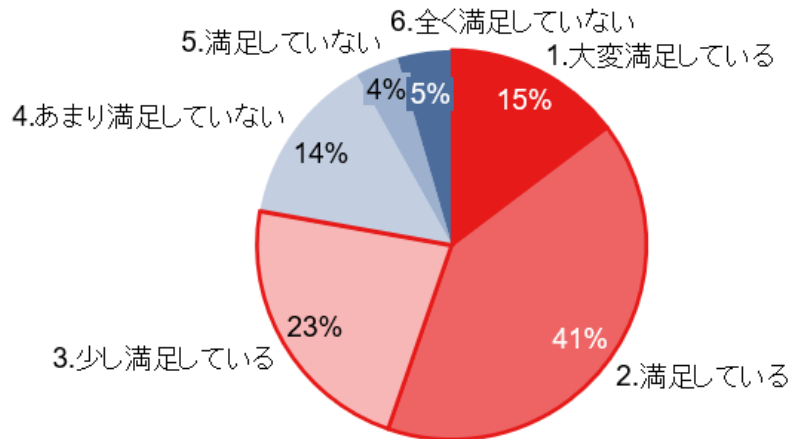
■ 調査結果の概要

「メンテナンス技術者」職は現従事者のうち 4 人に 3 人が就業内容に対して満足している「住めば都」職種である

従事者向けサーベイ

Q.現在「設備・機械メンテナンスエンジニア職」として勤務している際の就業満足度について、下記から最も当てはまるものを選択してください。

%; N=618



一方で技術職就職を志向する「新卒就活生」・「現在非技術職に従事する若手転職活動者層」は特に「IT エンジニア職」を志望する傾向が強く、設備・機械メンテナンス職を志望する層は約 1 割に留まる

求職者向けサーベイ

Q.新卒就活／転職活動において「技術・エンジニア職」として志望している「職種」を全て選択してください

%; 複数回答; 技術・エンジニア職への就業を検討している学生・転職活動者

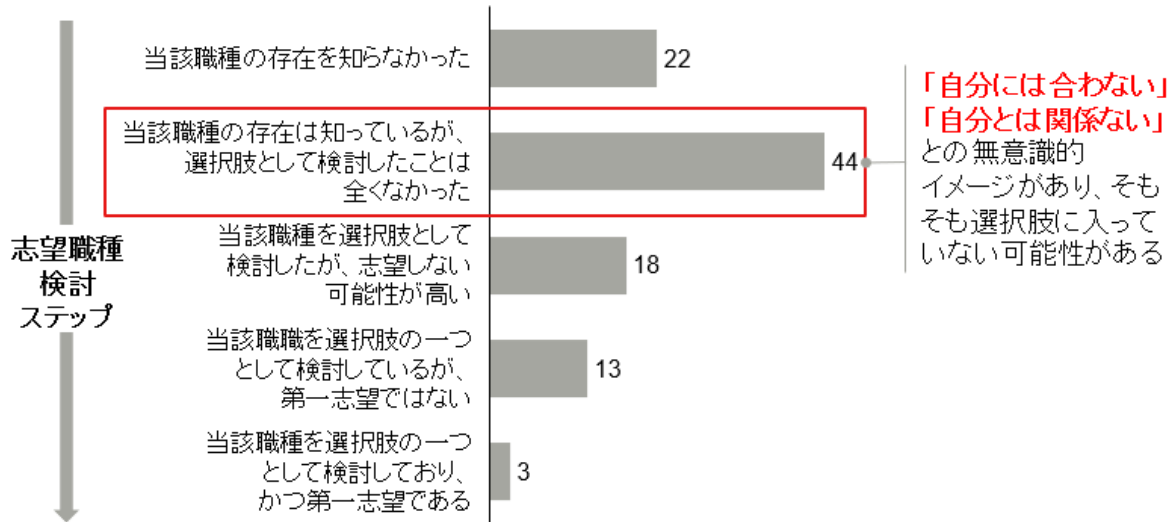
理系学生(N=309)		文系学生(N=286)		第二新卒転職活動者(N=309)	
ITエンジニア職	46	ITエンジニア職	70	ITエンジニア職	56
研究職	39	研究職	18	生産技術職	26
生産技術職	21	生産技術職	17	研究職	22
機械系 開発設計職	18	設備・機械 メンテナンス職	11	建築・土木設計職	13
電気・電子系 開発設計職	17	機械系 開発設計職	8	設備・機械 メンテナンス職	11
建築・土木設計職	14	電気・電子系 開発設計職	8	電気・電子系 開発設計職	11
設備・機械 メンテナンス職	10	建築・土木設計職	7	機械系 開発設計職	10
施工管理職	7	施工管理職	7	施工管理職	9
その他技術職	5	その他技術職	2	その他技術職	4

また、技術職就職を志向する「新卒就活生」・「現在非技術職に従事する若手転職活動者層」は約 8 割が「メンテナンス技術者」を認知しているものの、うち約半数は検討実績がなく、「イメージ先行」で検討対象から除外されている可能性がある

求職者向けサーベイ

Q. 今回の新卒就職活動／転職活動における「設備・機械メンテナンスエンジニア職」の検討状況についてお伺いします。次の選択肢のうち最も自身の状況について当てはまるものを選択してください

%; N=904; 技術・エンジニア職への就業を検討している学生・転職者

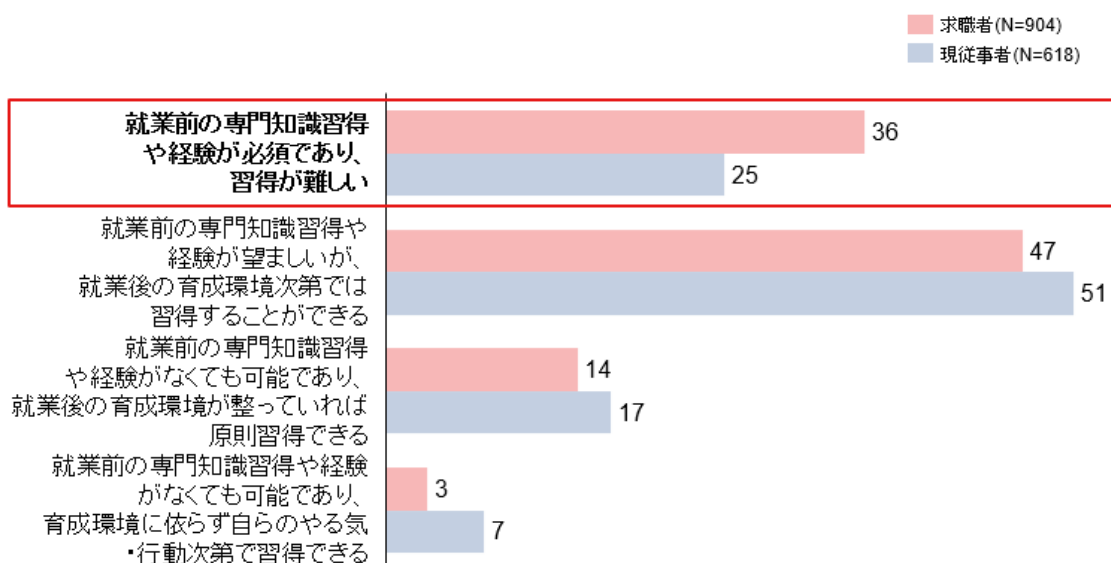


要因の一つとして、メンテナンス技術者としての技能習得に関して「従事者の感じる実態以上に」難しいイメージを求職者層が抱えていることが挙げられる

求職者向けサーベイ 現従事者向けサーベイ

Q. 「設備・機械メンテナンスエンジニア」としての技能を身に付けることに関して、あなた自身のイメージ/ご自身の考えとして最も当てはまるものを選択してください

%



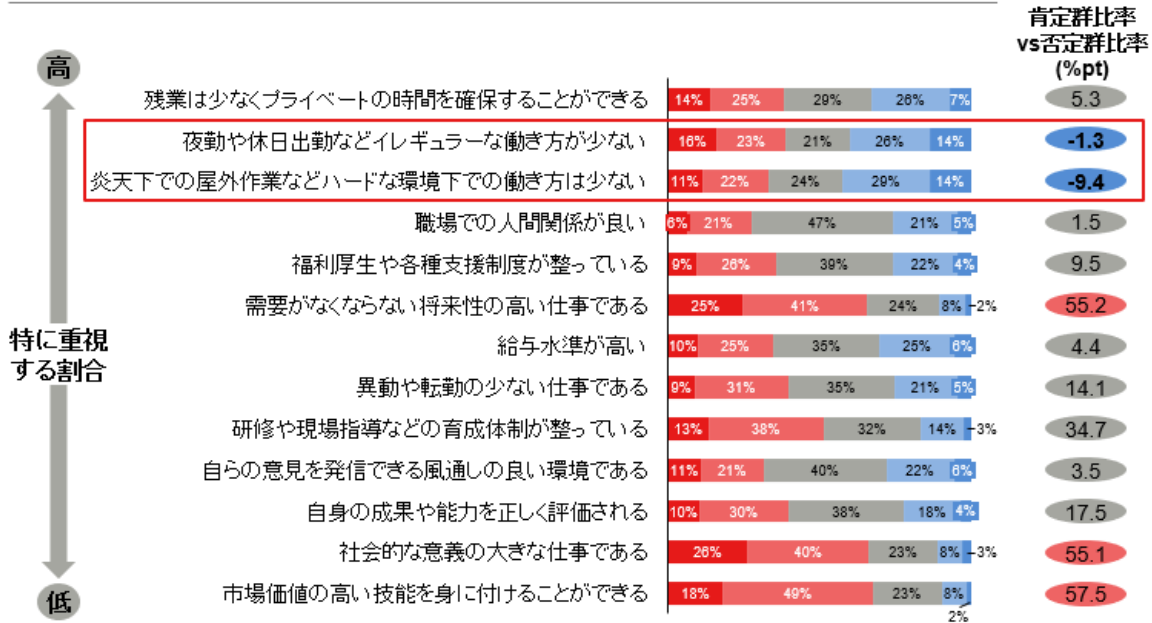
また、Z世代の求職者は特に「サステイナブルな働き方」を就業先決定において重視する傾向にあるが、「イレギュラーな働き方」や「肉体的にハードな環境」について、「現従事者の実感以上に」ネガティブなイメージを持ち、就業選択におけるハードルとなっている可能性が高い

求職者向けサーベイ

Q. 貴方自身が「設備・機械メンテナンスエンジニア」職の仕事や働き方などの下記項目に関して「イメージとして強い〜全くそのイメージはない」から選択してください。

%; N=904

- 1.イメージとして強い
- 2.イメージとしてやや強い
- 3.どちらとも言えない
- 4.あまりそのイメージはない
- 5.全くそのイメージはない



高  
↑  
特に重視する割合  
↓  
低

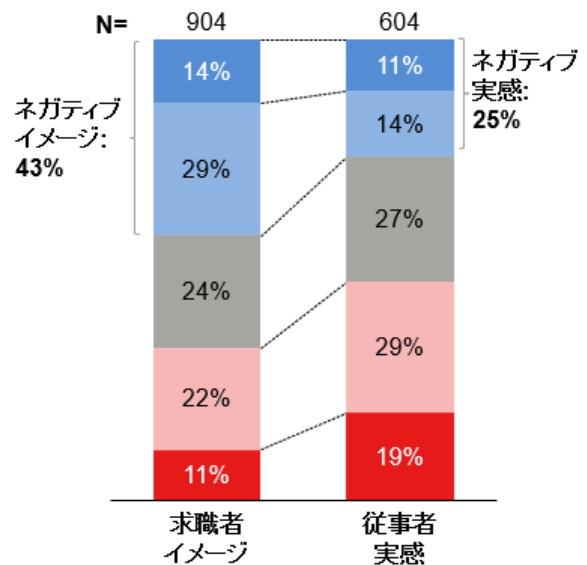
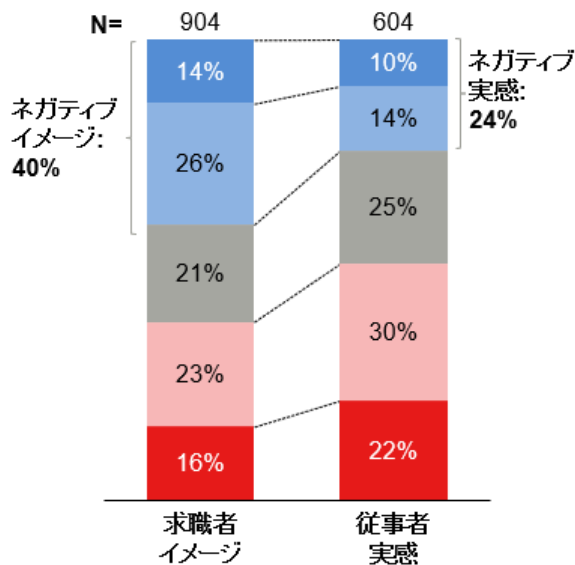
求職者向けサーベイ

従事者向けサーベイ

- 当てはまる
- 当てはまらない
- 少し当てはまる
- 全く当てはまらない
- どちらでもない

「夜勤や休日出勤などイレギュラーな働き方が少ない」求職者イメージvs現従事者実感比較 %

「炎天下での屋外作業などハードな環境下での働き方は少ない」求職者イメージvs現従事者実感比較 %



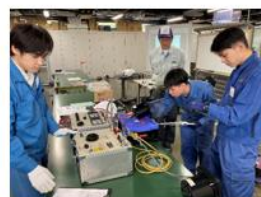
マイスターエンジニアリンググループでは、上記課題に対して、①官民連携したメンテナンス技術職の魅力発信②官民連携で「メンテナンス現場の働き方改革」にフォーカスを当てた取組促進、積極的アピール、③「未学習者・未経験者」がメンテナンス技術者に成長できる育成環境のグループ全体での整備とメンテナンス技術業界におけるグループ規模の拡大、といった3つの施策を提言、推進します。

「官民一体」での業界認知度向上・「働き方」に関するネガティブイメージ払しょくに向けた提案

<p>「高満足職種」として求職者目線に立った業界PRの推進</p>	<p><b>① 求職者層をターゲットとしたメンテナンス技術業界PRの官民一体での推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンテナンス技術者としてやりがいを感じ活躍する人物にフィーチャーした情報発信・PR活動の展開</li> <li>メンテナンス技術業界転職フェアの官民連携の下での開催</li> <li>メンテナンス技術業界就業検討者の就業体験に対する助成、等</li> </ul>
<p>「働きやすさ」の改善/底上げに向けた行政の支援と発信</p>	<p><b>2-a 官主導でのメンテナンス需要平準化に向けた変革</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンテナンス業務は施設の非稼働時の依頼が多く、夜間や年末年始、期末などに集中し、繁閑の波が大きい働き方になりやすい現実</li> <li>官主導で「庁舎/行政管理のサービス施設」等から「メンテナンスサステナビリティ」を意識した発注を進め、社会全体での変革をリード</li> </ul> <p><b>2-b 現場環境改善補助事業の創出と「働きやすい現場作り大賞」の創設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酷暑での屋外作業など肉体的負担の起きやすい職種の中で、その改善に努める企業を補助事業を通じ助成するとともに、好事例を積極的に取り上げ、求職者を念頭に積極的にアピールを実施</li> </ul>

マイスターエンジニアリンググループの志向する「技術連邦経営」イメージ

「採用」「研修」支援での取組事例 (デルタックス社)



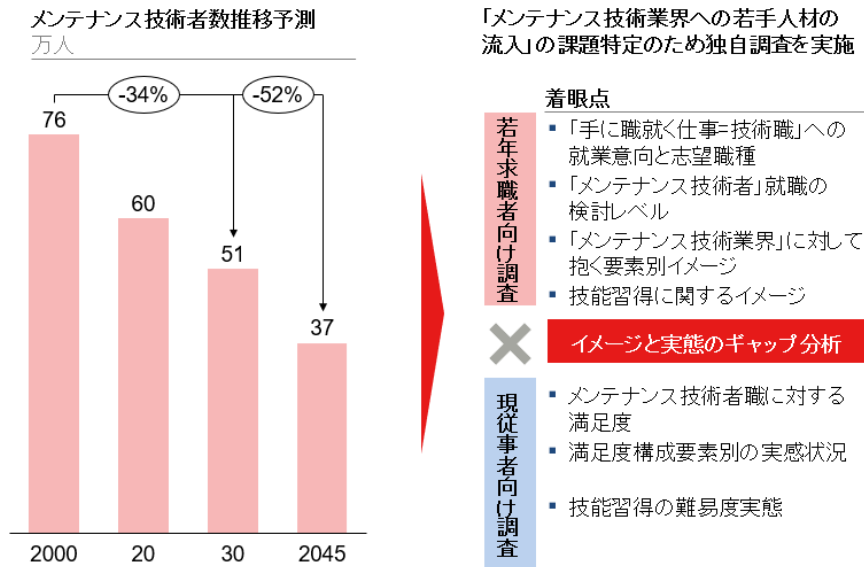
- ME社支援のもと2年間の電気点検技術者育成プログラムを構築
- ME保有の研修センターを共同活用



- ME社支援のもと若年求職者を惹きつける採用ページへ刷新を実施中
- 特に人材育成力をアピールし、技能習得の壁イメージを打破

## ■ 調査方法概要

メンテナンス技術者人材減少が予測され、超重要インフラの維持のために「新たな人材流入」が最重要課題となる中、若手求職者のメンテナンス技術業界へのイメージ調査及び現従事者の実態調査を実施



	対象者	サンプル数	調査実施方法
技術職求職者向け業界イメージ調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>新卒就活を実施中/実施済みの学生(18~29歳)で「技術職」就業意向者</li> <li>転職活動実施中の現非技術職就業者(18~29歳)で「技術職」への転職意向者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計: N=904</li> <li>新卒就活学生:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>文系: N=286</li> <li>理系: N=309</li> </ul> </li> <li>転職活動者: N=309</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方法: オンライン調査</li> <li>期間: 2023/8/28 ~ 8/31</li> </ul>
メンテナンス技術業界現従事者向け実態調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・機械メンテナンス技術者として就業中の社会人(18歳以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計: N=618</li> </ul>	

### ■ 株式会社マイスターエンジニアリングについて

マイスターエンジニアリンググループは、1974年の会社設立以来、日本の産業・社会インフラを支える技術サービス集団です。重電機器や都市土木等の超重要インフラの改修・メンテナンスや、半導体、自動車、産業機械など多様な分野への設計・開発・フィールドエンジニアリングを提供しています。当社グループは、高い技術力を持つ中小企業と「技術サービス連邦」を形成し、技術者の採用とキャリアアップ機会の提供、経営インフラの共通化、DX導入投資を通じて、社会が当たり前機能するためのインフラを未来に繋いでいくリーダーとなることを目指しています。

#### 【本件調査に関するお問合せ】

株式会社マイスターエンジニアリング 総務部広報担当：楠瀬、重里

TEL : 03-6756-0316 FAX : 03-6756-0545 E-mail : me-pr@mystar.co.jp

#### 【本件に関するお問合せ】

マイスターエンジニアリング PR 担当（株式会社マテリアル内）

Tel : 03-5459-5490 E-mail : [mystar@materialpr.jp](mailto:mystar@materialpr.jp)

菅野 (070-4540-7716) 早坂 (090-3611-1492)